

# 第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年2月

応募者名:北海道 渡島総合振興局 函館建設管理部

事業の名称:八雲都市計画道路

3・4・2号 出雲通整備事業

実施都市名:北海道 八雲町

## 事業目的

出雲通は、国道5号と八雲町中心市街地を連絡する幹線街路です。

八雲町市街地をJR函館本線が通過し、現道は踏切により平面交差で幅員も狭小であることから、立体交差化し、安心・安全な通学路の確保、市街地間の連絡強化や災害時における迅速な輸送路の確保を図ることを目的としています。

## 事業概要

事業名称:八雲都市計画道路 3・4・2号 出雲通整備事業

路線名:道道 八雲北桧山線

事業箇所:二海郡八雲町東雲町～出雲町

事業延長:1,300m(うち橋梁区間334.6m)

幅員:18m(橋梁部15.5m)

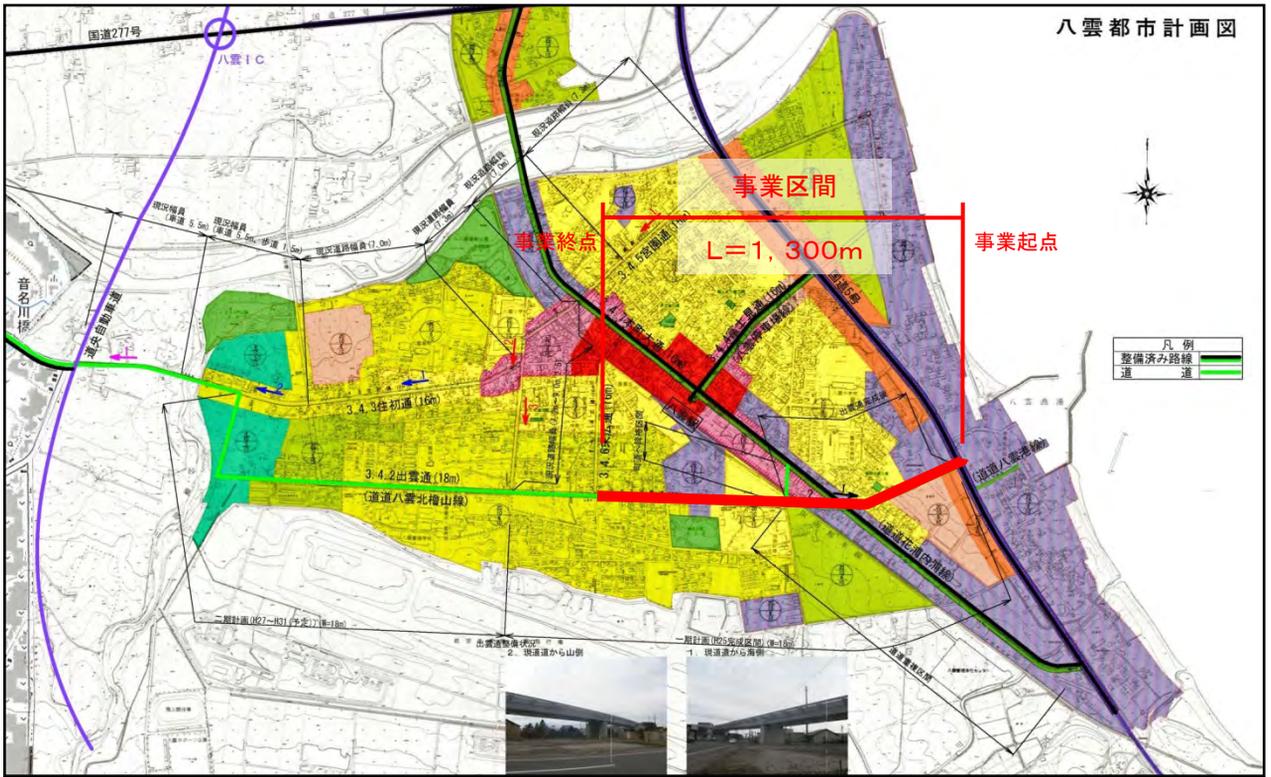
事業費:6,943百万円

事業実施期間:平成18年度～平成25年度

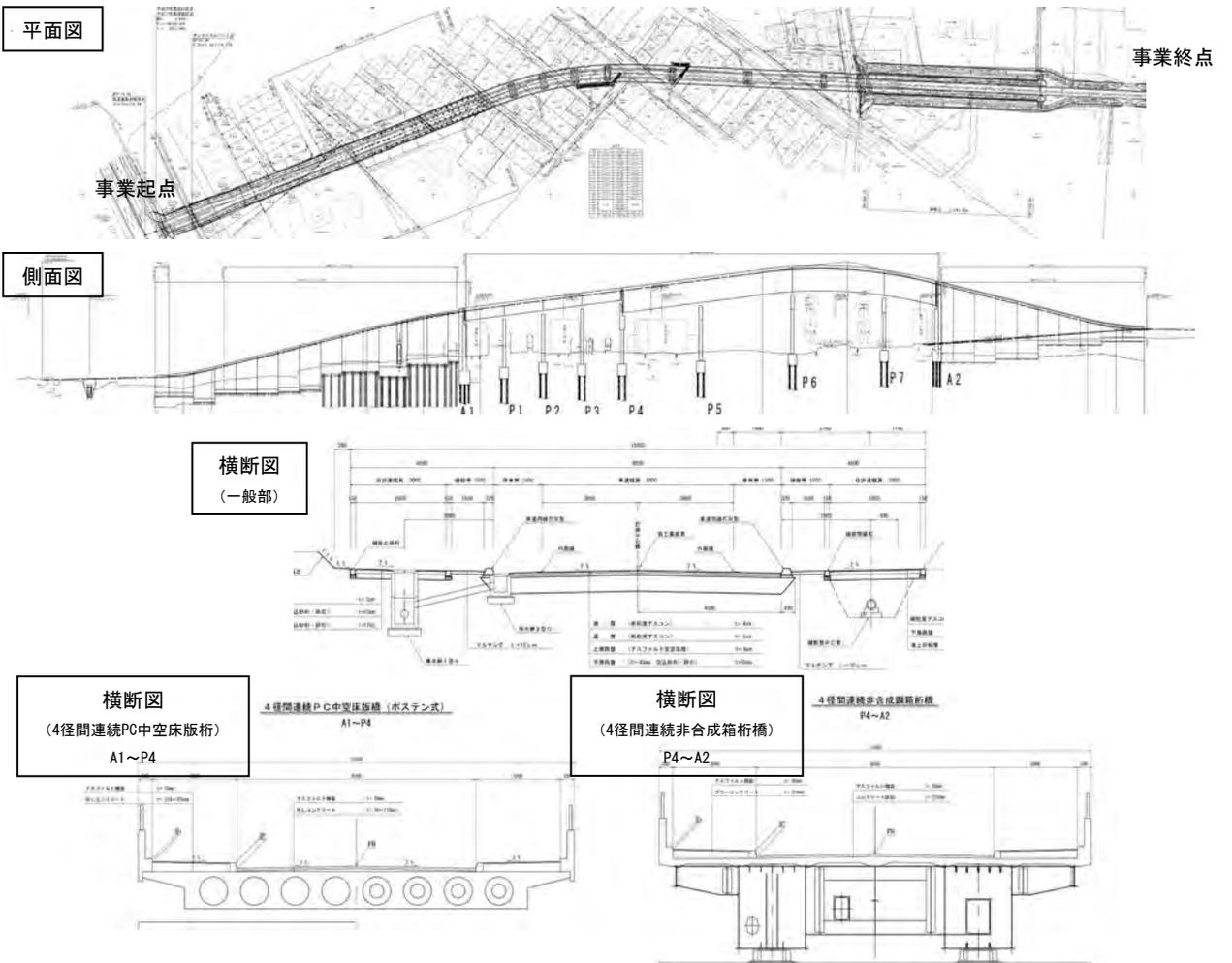
本事業は、道央圏と道南圏を結ぶ国道5号を起点として、JR函館本線により東西に分断されている八雲町市街地を立体交差で結ぶ街路事業になります。

本事業により、交通の安全性・快適性が向上し交通量が増え、他の道路の踏切渋滞も解消・緩和され円滑な交通が確保されました。また、安全で快適な歩行空間が確保され、歩行者の快適性が向上しました。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



# 出雲通の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名: 八雲都市計画道路  
3・4・2号 出雲通整備事業  
路線名: 道道八雲北桧山線  
事業箇所: 二海郡八雲町東雲町～出雲町  
事業延長: 1,300m  
幅員: 18m  
総事業費: 6,943百万円  
事業期間: 平成18年度～平成25年度

## ○交通量調査結果

供用前 2,435台/12h  
供用後 3,549台/12h

混雑していた旧道道の交通量が転換し交通量が増加し、旅行速度も向上。また、それにより他の道路の踏切渋滞が解消・緩和された。

## 「整備効果」

- ・ 車道幅拡幅により、安全性・快適性が向上し、交通量が1,114台/12h増加、また、走行性の向上により旅行速度が10.5km/h向上。
- ・ 安全で快適な歩行空間が確保され、歩行者の快適性が向上し、歩行者自転車交通量が35人・台/12h増加。
- ・ 救急活動において踏切待ちが発生しており救急活動に支障があったが、立体交差化により踏切待ちのない円滑な救急活動が向上。
- ・ 立体交差化により通過交通量が出雲通に転換することにより、他の道路の踏切渋滞が解消・緩和。
- ・ 避難経路確保に踏切が支障となっていたが、整備により避難路の確保、災害時の支援の円滑化などの防災活動が向上。
- ・ 中心市街地の分断解消により市街地全域をカバーする高度な消防・救急体制が確立され、住民の安全・救命活動が向上。
- ・ 本路線整備により、北渡島檜山地域を圏域とする国の合同庁舎、図書館等を建設する八雲シビックコア地域への圏域自治体からのアクセスが向上。

# 事業前写真

平成20年5月撮影



平成20年5月撮影



平成20年5月撮影



# 事業後写真

平成26年6月撮影



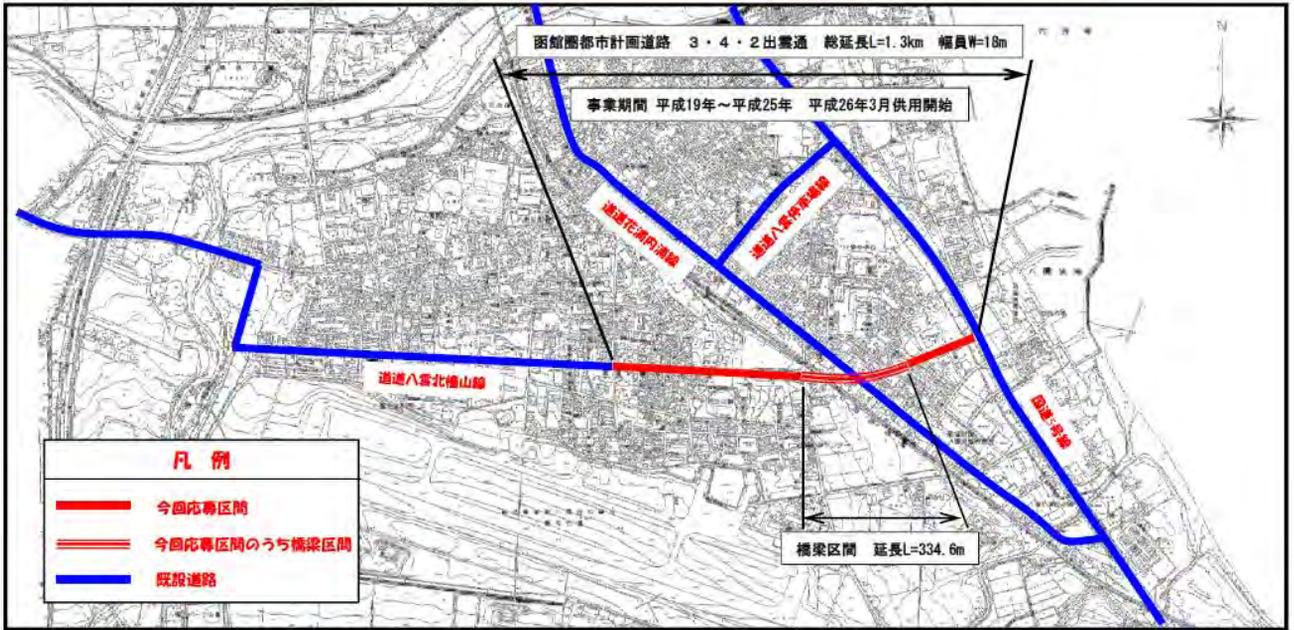
平成26年9月撮影



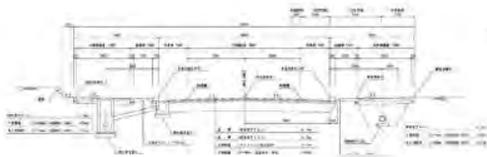
平成26年9月撮影



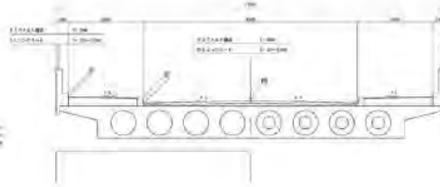
# 路線全体の進捗状況



[標準土工定規区間]



[4経間連続PC中空床版桁(ポステン式)]  
A1～P4



[4経間連続非合成箱桁橋]  
P4～A2

